

メルマガ 「いいテク・ニュース」 季語に遊ぶ 2021 年 7 月 29 日 (Vol.166)

「カール・ラーション、その絵画と俳句」

「カール・ラーション、その絵画と俳句」



https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Larsson,_Krebsfang.jpg

絵画を鑑賞することによる効果の一つに「癒やし」があります。

今回取りあげるのは、家族をモチーフに描いた温かな作品で「癒やし」を与えてくれるスウェーデンの国民的画家カール・ラーション（1853-1919）。

パリ留学をへて画家としての研鑽を積むかたわら、新聞や雑誌の挿絵の仕事を機にイラストレーターとしても活躍。

アール・ヌーヴォーやジャポニズムの表現を融合した独自のスタイルを確立しました。

日本の美術を深く理解し、「日本は芸術家としての私の故郷である」という言葉はよく知られています。

「季語に遊ぶ」では和・洋美術と俳句の組み合わせを試みてきました。

自身の家族を題材として、日常生活の中の風景の作品を多く残し、その作品から溢れ出す幸福感が人々の共感を呼んでいるカール・ラーションの作品を2回にわたり取りあげ、作品に合った俳句を選びました。

お楽しみください。

なお、「季語に遊ぶ」の量が多すぎるとのご意見をいただき、今回から 1/3 に縮小しました。

1. 『ブリータと私』



https://commons.wikimedia.org/wiki/File:BritaAndI_Selfportrait.jpg

『ブリータと私』 | 1895年 | 水彩、64 × 28 cm | イェーテボリ美術館

2歳になる三女ブリータを肩に乗せ、右手で娘を支え、左手には絵筆を持っています。背後の棚の上、ラーションの絵筆の先あたりに日本人形が見え、日本の芸術への理解の深さをうかがい知ることができます。ここでは「肩車」を詠んだ句を選びました。

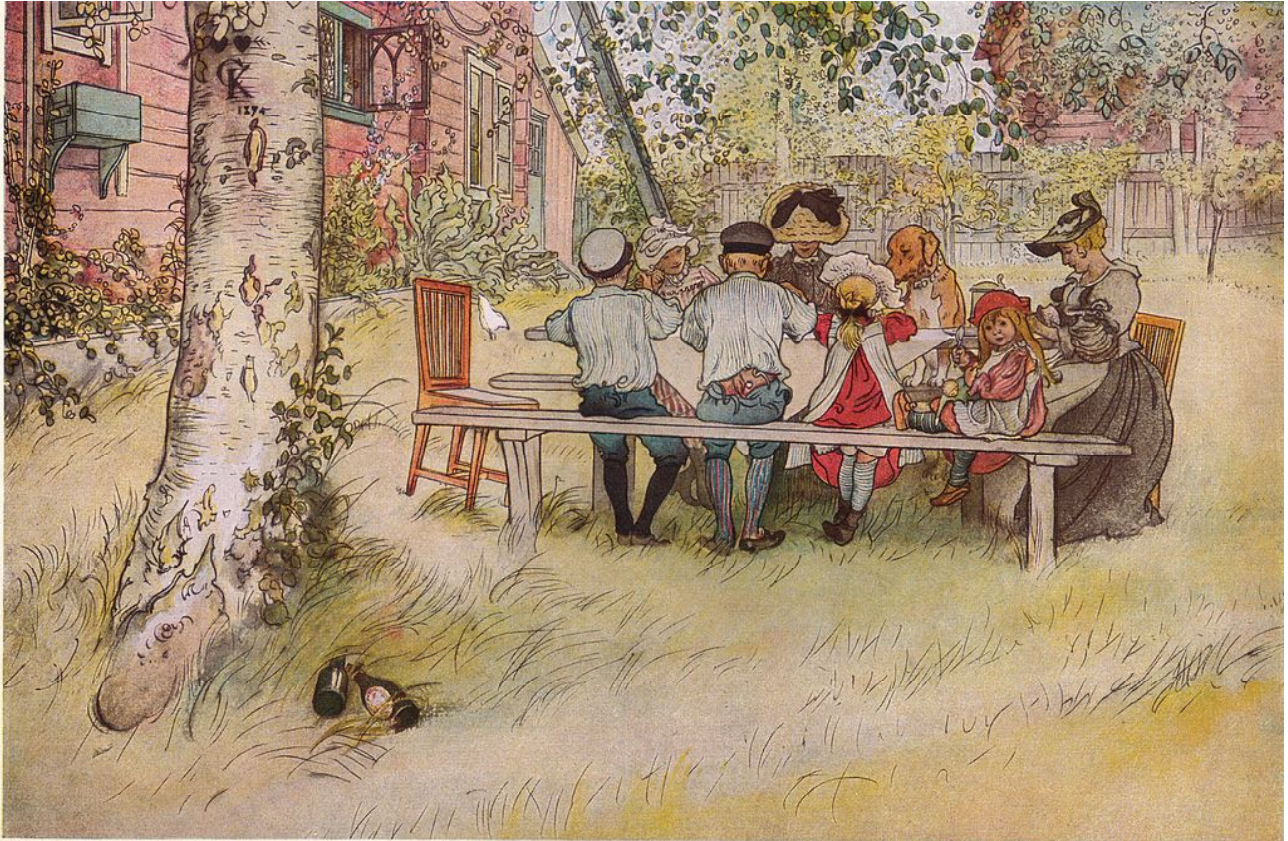
子にみやげなき秋の夜の肩ぐるま

能村登四郎(のむら としろう) (1911-2001)
季語<秋の夜>で三秋

菜の花の地平や父の肩車

成田千空(なりた せんくう) (1921-2007)
季語<菜の花>で晩春

2. 『大きな白樺の下での朝食』



https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Frukost_under_stora_bj%C3%B6rken_av_Carl_Larsson_1896.jpg

『大きな白樺の下での朝食』 | 1896年 | 水彩、32 × 43 cm | スtockホルム国立美術館

心地よい風が吹く木蔭は、家族の憩いの場所。
ラーション一家と愛犬、絵のモデル達が食卓を囲んでいます。
左端の椅子はラーションが座るものでしょう。
白樺の幹には、1894年と記され、ハートに矢のある妻とラーションのイニシャルが見えます。
ここでは「白樺」と「風」を詠んだ句を選びました。

白樺を発つ風のあり聖五月

村越化石(むらこし かせき) (1922-2014)
季語＜聖五月＞で初夏

光る風白樺から岳樺 (白樺＝しらかんば、岳樺＝たけかんば)

矢島渚男(やじま なぎさお) (1935-)
季語＜光る風＞で三春

3. 『ザリガニ捕り』



https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Larsson,_Krebsfang.jpg

『ザリガニ捕り』 | 1897 年 | 油彩、43 × 64 cm | スウェーデン国立美術館

スウェーデン発祥の夏の風物詩、ザリガニパーティをファミリーで楽しんでいる様子を描いています。

豊かな自然を舞台に愛妻カーリンと 6 人の子ども達が登場人物です。

ザリガニは塩水で茹で、新鮮なディルなどの香草で風味をつけ食べます。

画面下中央には赤く茹であがったザリガニが盛られ、食器やグラス、パンが用意され、今まさにザリガニパーティが始まろうとしています。

ちなみに味はエビやカニに似て、淡白で旨いです。

ここでは三夏の季語「ざりがに」を詠んだ句を選びました。

ざり蟹のからくれなゐの少年期

野見山朱鳥(のみやま あすか) (1917-1970)

ザリガニの音のバケツの通りけり

山尾玉藻(やまお たまも) (1944-)

私も詠んでみました。

風青しざり蟹赤し酒旨し

白井芳雄

今回は「カール・ラーション、その絵画と俳句」をお届けしました。

全体を通じての参考文献、出典：荒屋鋪 透

『カール・ラーション スウェーデンの暮らしと愛の情景』（東京美術）（2016 年）
ISBN978-4-8087-1068-2 C0071

荒屋鋪 透

『カール・ラーション スウェーデンの暮らしを芸術に変えた画家』（東京美術）（2018 年）
ISBN978-4-8087-1125-2 C0070

飯田龍太・稲畑汀子・金子兜太・沢木欣一監修

『カラー版 新日本大歳時記 愛蔵版』（講談社）
ISBN978-4-06-128972-7

『角川俳句大歳時記 新年』（角川学芸出版）
ISBN4-04-621035-4 C0392

『角川俳句大歳時記 春』（角川学芸出版）
ISBN4-04-621031-1 C0392

『角川俳句大歳時記 夏』（角川学芸出版）
ISBN4-04-621032-X C0392

『角川俳句大歳時記 秋』（角川学芸出版）
ISBN978-4-04-621033-3 C0392

『角川俳句大歳時記 冬』（角川学芸出版）
ISBN4-04-621034-6 C0392

本間美加子

『日本の 365 日を愛おしむ』（東邦出版）
ISBN978-4-8094-1652-1 C0076

参考サイト：フリー百科事典ウィキペディア (Wikipedia)

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等 melmaga@tic-co.com まで、
どしどしお寄せ下さい。

株式会社 技術情報センター 〒 530-0038 大阪市北区紅梅町 2-18 南森町共同ビル 3 F
TEL : 06-6358-0141 FAX : 06-6358-0134 E-mail : info@tic-co.com